

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第36週の発生動向

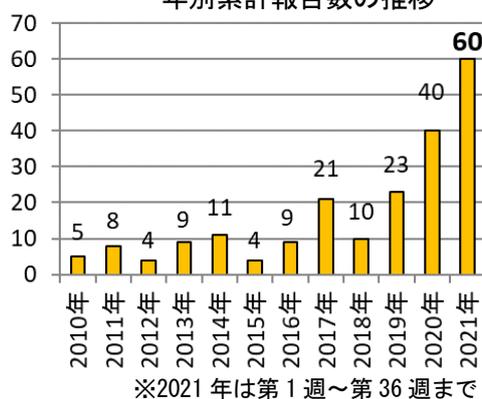
トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が202例あり、2021年の累積報告数は5,080例となった。

・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が宮崎市保健所からあった。2021年第36週時点での累積報告数が60例となり、1999年以降最も多くなった前年(40例)を大幅に超える報告数となっている。

性別は男性が37例、女性が23例で、年齢群別では、20歳代及び40歳代がそれぞれ全体の約3割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、42例となっている。

【梅毒】診断週による
年別累計報告数の推移



全数報告の感染症 (36週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。

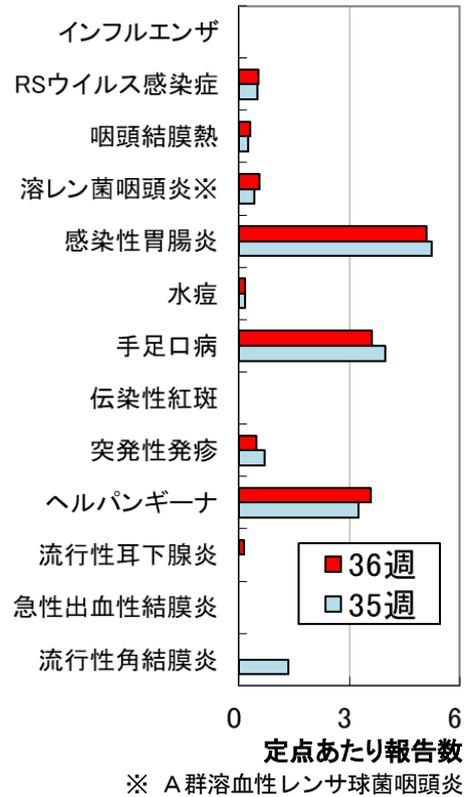
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	結核性心膜炎	心のう液貯留に伴う下肢・顔面のむくみ
		都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		小林	80歳代	女	肺結核	画像異常
4類	日本紅斑熱	日南	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

新型コロナウイルス感染症 (36週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	123例	17	17	21	27	25	10	3	2	1	発熱、咳、全身倦怠感、頭痛、咽頭痛等	
	都城	8例			1	5		1			1		
	延岡	7例	1		2	2	1				1		
	日南	24例	2	9	1	7	4		1				
	小林	14例	7			2	1	1	2	1			
	高鍋	13例	1		4	2			1	2	1		2
	日向	5例		1			2	1	1				
	中央	7例		1		2	2	2					
	県外	1例				1							

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は521人(定点当たり14.5)で、前週比91%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

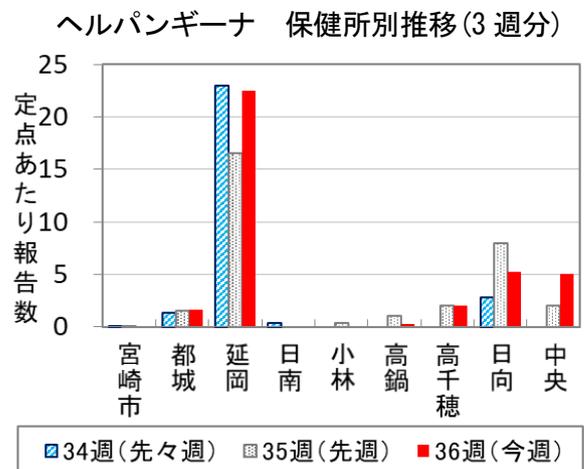
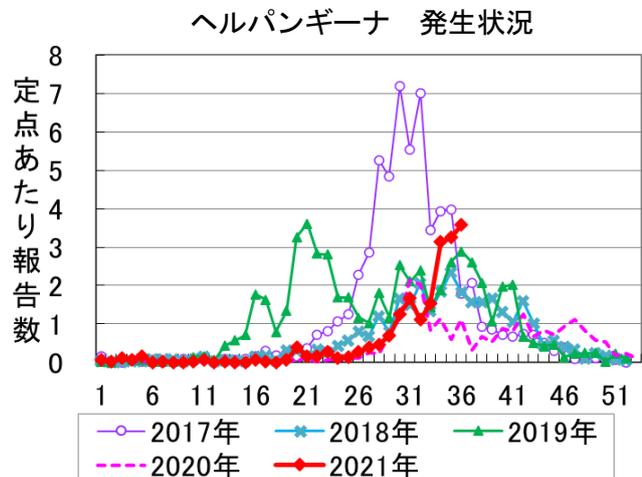
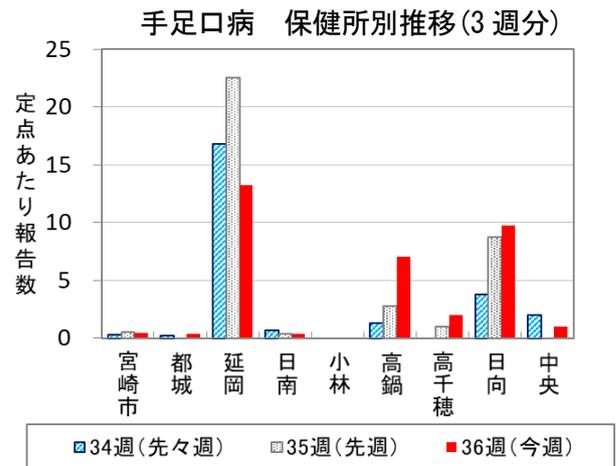
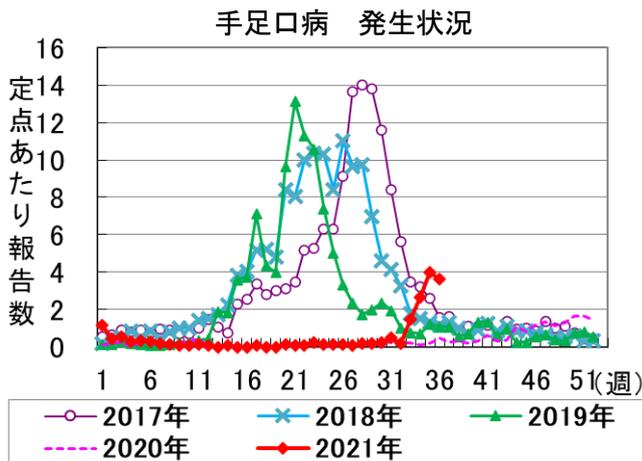
【手足口病】

報告数は130人(3.6)で、前週比91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約2.8倍であった。延岡(13.3)、日向(9.8)、高鍋(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は129人(3.6)で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約2.0倍であった。延岡(22.5)、日向(5.3)、中央(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(13.3)、ヘルパンギーナ(22.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	手足口病(7.0)
高千穂	なし
日向	手足口病(9.8)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年9月13日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	10歳代	男	2021.8.19	発熱(40.1℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2021.8.26
EHEC(O91:HUT VT1)	50歳代	女	2021.8.23	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.9.1

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2021 年第 35 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	213 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	73 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	45 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	40 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9 例	水痘（入院例）	7 例	梅毒	102 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例	百日咳	4 例
	麻疹	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

RSウイルス感染症の報告数は5,899人(1.9)で前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約1.2倍であった。鳥取県(13.0)、新潟県(10.8)、福島県(7.8)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は1,836人(0.6)で前週比121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約0.3倍であった。熊本県(6.5)、岩手県(4.3)、宮崎県、鹿児島県(4.0)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2021年8月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年8月(2.9)と同率であった。

《疾患別》

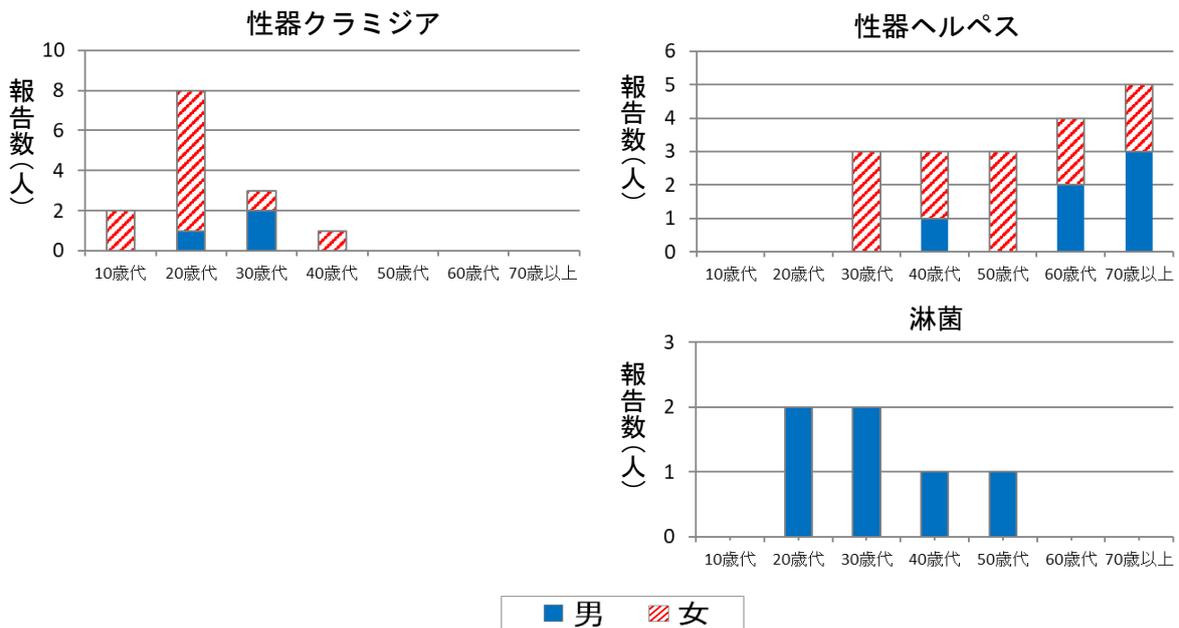
○性器クラミジア感染症：報告数14人(1.1)で、前月の約0.8倍、昨年8月の0.7倍であった。

20歳代が全体の約6割を占めた。(男性3人・女性11人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数18人(1.4)で、前月の1.8倍、昨年8月の1.5倍であった。
(男性6人、女性12人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で前月の約0.9倍、昨年8月の1.5倍であった。(男性6人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,693人(4.8)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,560人(2.6)で前月比95%、性器ヘルペスウイルス感染症751人(0.76)で前月比99%、尖圭コンジローマ494人(0.50)で前月比104%、淋菌感染症888人(0.9)で前月比88%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は10人(1.4)で、前月比42%と減少した。また、昨年8月(2.9)の50%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数9人(1.3)で、前月の約0.4倍、昨年8月の約半数であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人(0.14)であった。(前月及び昨年8月報告なし)

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,336(2.8)で、前月比105%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,238人(2.6)で前月比105%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症80人(0.17)で前月比106%、薬剤耐性緑膿菌感染症18人(0.04)で前月比133%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第36週(09月06日～09月12日)

疾病名		第35週	第36週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	18	19	1	9			5			4	
	定点当り	0.50	0.53	0.10	1.50	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	11	7	1		2	1				
	定点当り	0.25	0.31	0.70	0.17	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	15	20	1	4	3	12					
	定点当り	0.42	0.56	0.10	0.67	0.75	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	189	184	37	56	1	19	19	9	8	28	7
	定点当り	5.25	5.11	3.70	9.33	0.25	6.33	6.33	2.25	8.00	7.00	7.00
水痘	報告数	6	6	3	1		1		1			
	定点当り	0.17	0.17	0.30	0.17	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	143	130	4	2	53	1		28	2	39	1
	定点当り	3.97	3.61	0.40	0.33	13.25	0.33	0.00	7.00	2.00	9.75	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	17	8	2	3		2	1		1	
	定点当り	0.69	0.47	0.80	0.33	0.75	0.00	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	117	129		10	90			1	2	21	5
	定点当り	3.25	3.58	0.00	1.67	22.50	0.00	0.00	0.25	2.00	5.25	5.00
流行性耳下腺炎	報告数		5	1		3						1
	定点当り	0.00	0.14	0.10	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8										
	定点当り	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～36週)

2類感染症	結核	91例(3)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19例	
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	12例
	日本紅斑熱	10例(1)	レジオネラ症	7例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	60例(1)
	破傷風	3例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5080例(202)		

()内は今週届出分、再掲